（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス　LABO | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年　2月　16日 | ～ | 2026年　3月　14日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | ４８名 | （回答者数） | ４４名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年　2月　16日 | ～ | 2026年　3月　14日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | ９名 | （回答者数） | ９名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年　3月　19日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 社会性・コミュニケーション支援及び運動療育と学習支援の両立ができている。 | 学習支援が必要な子に対して、本人のペースを考えて、遊びなどを効果的に採り入れて支援ができている。訓練的な活動と遊び・運動療育のバランスが上手く取れており、メリハリも効いている。 | 遊びのバリエーションを増やしたい。今よりもっと買い物のトレーニングなど実社会で必要になるスキルを伸ばす活動も行いたい。 |
| 2 | 毎回の支援後に、できるだけ保護者とのコミュニケーションが取れるようにしている。 | 支援後のお帰りの際に、迎えに来られた親御さんと、本日の様子について報告ができている。その時に、親御さんのご不安や本人の家の様子も聞くことができている。 | その日の子供の良かったところをもっと積極的に見つけ、報告していきたい。親御さんの悩みを聞き取れるように対応していきたい。また、親御さんを励ますことを心掛けたい。 |
| 3 | 個別支援と集団支援がバランスよく組み合わさっている。 | 明確に、個別の活動と、集団活動が分かれており、十分に時間をとって両方同じ割合で支援ができている。 | もっと個々の子供の特性に特化したバライティ豊かな活動を考えていきたい。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者会がなかなか開催できていない。 | 内部充実を目指した他業務に追われて保護者会を計画する余裕がないため。 | 内部の業務の効率化を行い、開催できるよう環境を整えたい。その上で、参加したい方をアンケートで集い、その人数に応じて開催方法を考えて具体化していきたい。 |
| 2 | ペアレンタルトレーニングなどの家族支援プログラムや家族が参加できる研修会の機会があまり与えられていない。 | 本人支援や内部充実を図る業務に追われ、余裕がなく、ご家族に対して行う様々な支援やサポートが足りていない。 | 内部の業務の効率化を行い、工夫して、家族支援ができる様々なツールを活用したい。 |
| 3 | 放課後児童クラブとの交流がなかなかできていない。 | 本人支援や内部充実を図る業務に追われ、余裕がなく、実施できていないため。 | 内部の業務の効率化を行い、工夫して、放課後児童クラブとの交流方法を検討していきたい。まずは連携のための情報交換から行いたい。 |